

# 入院のご案内

※入院の際には、必ずこの冊子をご持参下さい。

◎入院日は 年 月 日です。

当日は : 頃までにお越し下さい。

医療法人殿田会 殿田胃腸肛門病院

〒649-6226

和歌山県岩出市宮 117 番地の 7

TEL (0736) 62-9111 (代表)

# 1 入院の手続き

入院は原則、診察を受けていただき、その結果医師が入院の必要を認めた場合に限ります。

## (1) 1 階受付提出書類

- 診察券
- 健康保険証
- 公費医療証
- 限度額認定証もしくは標準負担額減額認定証（できれば入院日までにご用意下さい）
- 介護保険証
- 入院申込書及び誓約書
- 入院時のご確認又は直近3ヶ月以内の他院からの退院証明書
- 実費徴収に関する同意書

(注) 健康保険証の提出のない方は自費患者さまとして、入院手続きをしますのご了承下さい。

後日提出された場合でも、提出前の医療費につきましては保険適用外として取扱う場合もありますのでご注意下さい。

## (2) 2 階ナースステーションでの提出書類

- 入院時の問診票
- 病室使用届（当日、看護師から説明させていただきます。）

## (3) 他の医療機関へ通院されている患者様へ

厚労省の告示により、入院中（外泊、外出を含む）は、他医療機関を本人が受診したり、家族が代わりに受診や薬の処方を受けることは認められておりま





(5) 室料差額料金表 (1 日につき) ※全室個人用テレビ完備

種 別	日額 (税込)	備 考
特別室 (13・15・27 号室)	6,600 円	ユニットバス・冷蔵庫完備
個室	4,400 円	洗面台完備
2 人部屋	2,200 円	洗面台完備
4 人部屋	不要	

※特別室・個室・2 人部屋を希望される際には、「病室使用届」の提出 が必要となります。

なお、ご希望に添えない場合や、治療又は看護上必要に応じて部屋が変わっていただくことがありますのでご協力をお願い致します。

2 人部屋・4 人部屋でテレビをご利用の際は、他の患者さまのご迷惑になりますのでイヤホンをご利用下さい。1 階受付にて販売しております。(税込 130 円/1 ヶ)

- (6) 貸冷蔵庫をご希望の場合は、2階ナースステーションへお申出下さい。また、使用停止する場合も必ずお申出下さい。  
(税込 110 円/1 日)

## 4 退院の手続き

主治医より退院の許可を得た後に、退院手続きとなります。退院当日は、1階会計窓口にて入院費を精算して下さい。

お荷物・お薬等お忘れ物の無いようご注意ください。

## 5 その他

### 患者様相談窓口について

患者さまやご家族さまの医療に対する不安、心配ごとや要望等をお聞きして、患者さまに安心して医療を受けていただけるよう「患者さま相談窓口」を設置しております。

医療相談・福祉相談・療養支援・各書類のお問合せ等、お気軽にご相談下さい。

### 防災について

各ベッド脇の床頭台に非常口の案内を設置しております。非常時は、職員の指示に従って落ち着いて行動して下さい。

公衆電話は、1階（受付待合）・2階（廊下）に設置しています。

### 入院中の生活について

《病棟日課》※時間については変更する場合があります

8:00 朝食	8:30頃 回診 (日・祝は11:30頃)	9:00頃 点滴	9:30頃 検温	12:00 昼食	14:30頃 巡視	15:00頃 点滴	18:00 夕食	20:00頃 検温	21:00 消灯
------------	-----------------------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	-------------	--------------	-------------

- ・21:00以降は3時間ごとの巡視を行っています。
- ・シーツ交換は週1回を原則としています。汚染時は適時交換します。

### 《食事・寝具について》

入院療養中は、病院指定の食事及び寝具をお受け下さい。

※医療の一環として、基準に適合した食事を提供しています。

病状に応じて治療食をご用意しています。

入院中は、病院給食以外の飲食は原則禁止させていただきます。

食中毒予防の為、配膳後はお早めにお召し上がり下さい。

病室内での家族・面会人の方の飲食はご遠慮下さい。

アルコール類の持ち込み、飲酒は固くお断りいたします。

※入院患者様の栄養・食事指導については管理栄養士が栄養相談を致します。ご希望の方は予約が必要ですので、主治医あるいは看護師にご相談下さい。

### 《入浴について》

入浴・シャワーをご希望の方は、主治医の許可が必要になります。

2階ナースステーションまでお申し出下さい。

当日、係の者が入浴されるかを確認します。

利用時間 : 9:00 ~ 20:00

男性 (月・木)          女性 (火・金)

洗濯物を病院でされる方は、4階屋上に洗濯機と乾燥機を設置しています。

洗剤等をご自身でご準備下さい。

(洗濯機 1回 200円          乾燥機 40分 100円)

### 《外出・外泊について》

主治医の許可のもと、外出・外泊を希望される場合は、届出の用紙が必要になります。2階ナースステーションまでお申し出下さい。無断で外出や外泊はしないで下さい。

### 《付き添いについて》

原則として付き添いは認めておりません。但し、患者さまの病状等の理由で希望される場合は、主治医又は病棟師長にご相談ください。

## 入院中の注意事項

- ① 入院中、保険証が変わったときや被保険者の資格がなくなったときは、1階受付窓口へお知らせ下さい。住所・電話番号の変更の際もお知らせ下さい。
- ② 診断書・証明書が必要な方は、2階ナースステーションまたは1階受付窓口にご依頼下さい。
- ③ 駐車場には限りがあります。入院患者さま及び付き添いの方の駐車は固くお断りしております。
- ④ 当院は皆様の健康増進と受動喫煙防止の為、**敷地内全面禁煙**とさせて頂いております。喫煙所はございませんのでご了承下さい。敷地内で喫煙された場合は退院して頂くことになります。
- ⑤ 院内での携帯電話の使用はマナーを守り、他の方のご迷惑にならないようにご配慮下さい。
- ⑥ 院内でのゴミは分別（燃えるゴミ・缶類・ペットボトル等）となっております。ご協力をお願い致します。（2階給湯室内）
- ⑦ 病室の空いているベッドに腰を掛けたり、物を置いたりしないようお願い致します。
- ⑧ 個人情報保護法に基づき、ご入院されている患者さまの入院の有無・病名・



病状等のお問合せは、お電話での対応はできません。ご家族・ご親戚の方も予めご了承下さい。

- ⑨ 電気器具の使用については、看護師にご相談下さい。
- ⑩ 大部屋では、痰を吸引している方、尿器やポータブルトイレを使用される方、おむつを使用している方等、さまざまな方が入院されています。入院中にご迷惑をおかけするかもしれませんがご理解とご協力をお願いします。
- ⑪ 消毒については院内感染防止のため、玄関、病室入口に消毒液を設置しております。入退室の際には手指に噴霧し、液を手で擦り込んで使用してください。

**院内での身体的暴力や暴言・大声を発する、他の病室に出入する等、他の患者さまのご迷惑になるようなことはしないようにお願い致します。**

**お守り頂けない場合は、退院して頂くことがあります。**

**入院療養中は病院職員の指示に従っていただき、治療に専念されますようお願い致します。**

※ご不明な点がありましたら 1 階受付窓口又は 2 階ナースステーションまでお問合せ下さい。

## 入院中に起こりうる危険性に関する説明

### \* 起こりうる危険性について

入院していると、安全で安心であると思われませんが、家庭環境とはかなり違います。

認知症状が強くなったり、治療に必要な命に関わる管类等（栄養・点滴等チューブ類）を引き抜いたりすることがあります。

また、転倒や転落でも単なる尻もちから、骨折、あるいは頭部の強打により死亡に至ることもあります。

#### \* 不穏とは・・・

- 無意識に点滴や身体に入っている管類を抜いたり、ベッドから落ちたり、ふらっと廊下を歩き転んだり、病院を抜け出したり、暴れたりすることです。
- 入院直後や検査直後などは日頃の生活とかけ離れた状態が続きますので、不安や緊張から認知症に似た症状や前述のような行動の場合を不穏と呼びます。
- 元気な高齢者の方でも、入院や個室に入った途端、外界からの刺激（家族との会話が減る・殺風景な病室で視覚での刺激も少ない）がなくなり、自分がどこにいるのかわからない、病院にいること、治療していることがわからなくなることを不穏といいます。

入院による環境の変化・不安・痛み・検査などの要因により不穏状態になると・・・

① 認知症の出現や悪化

不穏のような症状や行動が出現したり、もともと認知症がある方は、入院することで環境が変化するので症状や行動が悪化することがあります。

② 転倒・転落

不穏が出現すると、ベッドから転落したり、普段なら歩けていても筋力の低下も加わり歩行時に転んで骨折したり、頭を強く打って死亡に至ることもあります。

③ 誤飲・誤食・誤嚥

加齢とともに食べ物を咀嚼（噛み砕き、混ぜ合わせる）する機能は低下します。また、麻痺等による嚥下（飲み込み）障害に認知症などの症状が重なり、水や食べ物を飲み込むときに誤って気管に入ると肺炎を起こしやすくなります。

不穏症状が出現すると、飲料や食品と間違えやすい石けんや入浴剤、芳香剤などを食べてしまうケースもあります。

④ カテーテル（治療に必要な管類）や点滴の抜去

不穏症状が出現すると、大切な点滴や身体に入れた管類を無意識に抜いてしまうことがあります。

## ⑤ 離院（無断外出・外泊など）

不穏症状が出現すると、自分の居場所がわからなくなり、許可なく病院の外に出て行き、病院にも自宅にも帰れない状況になる場合があります。

## ⑥ 治療上必要な安静が保てない

不穏状態が出現すると、暴れたり治療上必要な安静が保てない状態になります。

## ⑦ 予想外の行動

無断外出・外泊など、所在がわからなくなる事もあります。

## \*危険回避の方法

### ○ベッド柵の設置

ベッド柵を2ヶ所から4ヶ所に設置したり、片方を壁につけたりします。

### ○離床センサーの設置

ナースコールの変わりに、ベッドから降りようとしたり、降りるとナースコールがなる器具を設置します。

### ○低床ベッド・床敷きマットレスの使用

転落に備えてベッドを低くしたり、床に直接マットレスを敷いたりします。

### ○車いす乗車時の安全ベルトの装着

車いすに座っている時でも急に立ち上がって転んだりするのを防ぐため、安全ベルトを装着します。

### ○ベッド周囲の危険物を除去（はさみ・芳香剤・シャンプーなど）

シャンプー・芳香剤などは誤飲や誤食の原因になります。目の届くところに置かない。はさみは手に持つと目についた物を切ってしまう。危険なの

で目のつくところには置かない。

○転びにくい履物を選ぶ（スリッパは危険）

院内の廊下や病室内の床は滑りにくいようにはなっていますが、足が  
上がらない場合はかえってつまずくことがあります。

スリッパ以外の履き慣れた室内履きが必要です。

○ポータブルトイレの設置

トイレまで行けない場合は、ポータブルトイレを設置します。

○重大な危険を回避する方法がない場合は、介護服の着用や体幹・手足の抑制  
帯で固定やミトンの装着をします。

（注）

状況に応じてベッドの位置変更や病室（観察室など）の変更をお願いする  
ことがあります。

不穏などの症状や行動で、生命に危険を及ぼす管類の抜去や暴れなどがあ  
る場合は、ご家族の同意を得たうえで手足を抑制したり、介護服を着用した  
りします。

## \*ご家族様へのお願い

患者さまにはできる限り危険や精神的不安を回避し、安全な入院生活を  
送っていただく努力をしています。

しかし、上記のように入院中に起こりうる危険が生じた場合、危険を回避  
する措置を行います。危険回避措置を行っても患者さまによっては、少しの  
間でも目を離すと危険度が非常に高い方がいらっしゃいます。

入院中の危険を伴うような症状が生じた場合は、日中はもとより夜間にお  
いても連絡させていただくことがあります。

上記説明をご理解の上、ご了承願います。

尚、危険性が生じた場合の連絡については、事前にお伺いしている連絡先に基づき連絡させていただきます。

医療法人殿田会 殿田胃腸肛門病院